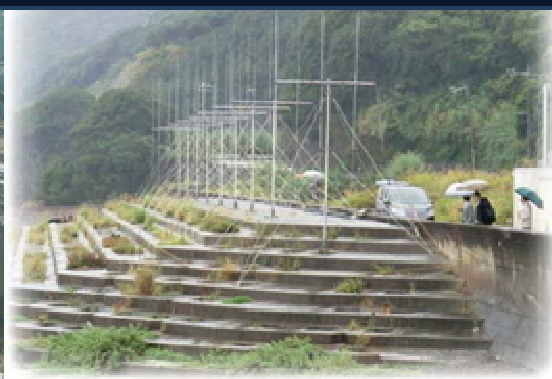


津波防災・減災技術シンポジウム

～海洋レーダの常時活用から津波モニタリングまで～

日時 2016. 11. 4 (金) 13:00開始 (12:00開場)

会場 関西大学 梅田キャンパス 8階ホール



■ 開催趣旨

東日本大震災では従来の津波防災の様々な問題点が明らかとなった。特に、日本の津波防災の中心であった事前の備えに加えて、災害対応の重要性が指摘されている。来るべき南海トラフ巨大地震災害ではより広域かつ激甚な津波災害が発生すると予想されているため、発災時と被災後の対応力の向上が求められている。そのためには津波のモニタリングと観測データを活用した津波防災・減災システムが不可欠となる。そこで、東日本大震災以降、様々な公的機関や企業等により開発が進められてきた海洋レーダを用いた津波防災・減災技術を紹介するとともに、平常時を含めた実践的な活用を考える。

■ プログラム

| 時間 | 講演タイトル | 講演者 |
|-------------|---|--|
| 13:00～13:10 | 開会挨拶 | 名古屋大学 教授 富田 孝史 |
| 13:10～13:50 | 【基調講演】 津波防災・減災とモニタリング | 高知工科大学 学長 磯部 雅彦 |
| 13:50～14:10 | 東日本大震災を踏まえた今後の津波防災・減災のあり方 | 関西大学 社会安全学部 教授 高橋 智幸 |
| 14:10～14:30 | 海洋レーダの技術と世界各国での取り組み | 琉球大学 工学部 教授 藤井 智史 |
| 14:30～14:50 | 海洋レーダによる津波計測 | 愛媛大学 工学部 教授 日向 博文 |
| 14:50～15:00 | 休憩 (10分) | |
| 15:00～15:15 | 海洋レーダの常時活用と津波時活用について | 国際航業株式会社 技術本部 主任技師 藤 良太郎 |
| 15:15～15:30 | 閉鎖性内湾における流況・波浪観測の活用事例 | 東京理科大学 理工学部 助教 片岡 智哉 |
| 15:30～15:45 | 水産業への活用を想定した宮崎県の海洋レーダ導入計画について | 宮崎県 水産試験場 資源部 主任技師 渡慶次 力 |
| 15:45～16:00 | 浜岡発電所における津波監視システムについて | 中部電力株式会社 原子力安全技術研究所 地震・津波・防災グループ長 田中 良仁 |
| 16:00～16:10 | 休憩 (10分) | |
| 16:10～16:50 | パネルディスカッション コーディネーター：高橋智幸 パネラー：磯部雅彦、片岡智哉、田中良仁、渡慶次力、日向博文、藤井智史、藤良太郎 | |
| 16:50～17:00 | 閉会挨拶 | みなと総合研究財団 首席研究員 吉田 秀樹 |

■参加申込

- ☆申込期限 : 2016年10月21日 先着200名 (先着順)
- ☆申込方法 : 右の2次元バーコードより参加申込ページにアクセスしてください。
 - ※参加申込ページURL http://bit.ly/tsnm_radar2016_registration
 - ※参加申込ページより申し込みができない場合は、メールアドレス(tsnm_radar2016@product-kkc.jp)よりご連絡ください。
 - ※当日も参加可能です。講演資料は事前申し込み頂いた方に配布します。

参加申込ページアクセス用
2次元バーコード



- CPD : 本シンポジウムはCPD認定プログラムです(3.7単位)。
認定番号 JSCE16-1022



- 参加費 : 無料

■交通アクセス

- ☆関西大学梅田キャンパス
〒530-0014 大阪市北区鶴野町1番5号
- ☆関西大学梅田キャンパス案内ページ
<http://www.kansai-u.ac.jp/ku130/umeda/location/index.html>
- ☆阪急梅田駅から徒歩 5 分程度、JR大阪駅より徒歩10分程度



■お問い合わせ先

- ☆津波防災・減災技術シンポジウム事務局 tsnm_radar2016@product-kkc.jp
- ☆津波防災・減災技術シンポジウムサイト http://bit.ly/tsnm_radar2016_outline

■実施機関

- ☆主催 : シンポジウム実行委員会、関西大学社会安全学部
- ☆共催 : 琉球大学、愛媛大学、東京理科大学、
名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育センター
- ☆協力 : 国際航業株式会社
- ☆後援 : 一般財団法人みなと総合研究財団